

2023年度事業報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 功労者表彰

1. 1 島津賞

受賞者：1名（候補者数8名※）

（※2022年度からの繰越5名、2023年度候補者3名）

【候補者推薦について】

受付：2023年4月1日～7月31日

方法：別紙1「島津賞・島津奨励賞推薦依頼学会」の50学会に候補者推薦を依頼。

対象：科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において、著しい成果をあげた功労者とする。

【選考と決定について】

選考：第一次選考審査（2023年8月下旬～10月中旬）を行い、第二次選考審査である選考委員会（2023年10月24日開催）にて選考。

決定：第39回理事会（2023年12月4日開催）で審議・決定。

【贈呈について】

2024年2月20日にホテルオークラ京都において、島津賞表彰式を挙行。下記1名に対し、表彰状、賞牌、副賞賞金500万円を贈呈した。

（年齢および所属・役職は受賞時点）

受賞者氏名	研 究 業 績	推 薦 者
京都大学 大学院医学研究科 イワタ ソウ 教 授 岩田 想 59才	膜タンパク質の3次元から4次元構造解析方法の開発	日本生物物理学会

1. 2 島津奨励賞

受賞者：3名（候補者数38名）

（※2022年度からの繰越14名<内、新規業績追加は2名>、2023年度候補者24名）

【候補者推薦について】

受付：2023年4月1日～7月31日

方法：島津賞の候補者推薦と同様、別紙1の50の学会に加え、当財団関係者（理事・評議員・選考委員および過去20年以内の島津賞受賞者）に候補者推薦を依頼。

対象：科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において独創的成果をあげ、かつその研究の発展が期待される国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者を表彰する。

【選考と決定について】

選考：第一次選考審査（2023年8月下旬～10月中旬）を行い、第二次選考審査である選考委員会（2023年10月24日開催）にて選考。

決定：第39回理事会（2023年12月4日開催）で審議・決定。

【贈呈について】

2024年2月20日にホテルオークラ京都において、島津奨励賞表彰式を挙行。下記3名に対し、表彰状、トロフィ、副賞賞金100万円を贈呈した。

（年齢および所属・役職は受賞時点）

受賞者氏名		研 究 業 績	推 薦 者
1	東京工業大学 生命理工学院 カミヤ マコ 教 授 神谷 真子 42 才	革新的バイオイメージングを実現する高精度化学プローブの開発	過年度島津賞受賞者
2	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 イワサキ ワタル 教 授 岩崎 渉 40 才	生態系の大規模高精度観測・予測を可能とした環境核酸計測法の開発	日本分子生物学会
3	大阪大学 蛋白質研究所 ナカネ タカノリ 特任准教授 中根 崇智 37 才	構造生物学の空間分解能と時間分解能を向上し原子の動きを捉える解析技術の開発	島津科学技術振興財団 理事

2. 研究開発助成事業

研究開発助成

科学計測に係る領域において、本事業が以前から対象としていた領域（これを「領域全般」と呼ぶ）に加え、従来の計測の概念にとらわれない新しい分野の研究を対象領域として「新分野」という枠を別途設けて募集を行っている。応募状況は以下の通りである。

- 1) 科学計測に関わる「領域全般」 受領者20件 （応募総数 57件）
- 2) 科学計測に関わる「新分野」 受領者 3件以内（応募件数 8件）

新分野のテーマは、『高度情報処理を用いた科学計測の高度化研究分野』とすることが理事会において決定しており、このテーマで募集が行われた。

【募集について（領域全般・新分野共通）】

受付：2023年4月1日～7月31日

方法：当財団のHP上での告知、および、別紙1の50学会に、会誌やHP等での募集内容の告知を依頼した。

対象：科学技術、主として科学計測に係る領域における基礎的な研究。

資格：科学計測に関わる領域全般、新分野とも国内の研究機関に所属する新進気鋭の研究者で、毎事業年度の公募開始時点において45歳以下の者。

【選考と決定について】

- 1) 科学計測に関わる「領域全般」について

選考：第一次選考審査（2023年8月下旬～10月中旬）を行い、第二次選考審査であ

る選考委員会（2023年10月24日開催）にて選考した。
決定：第39回理事会（2023年12月4日開催）で審議・決定。

2) 科学計測に関わる「新分野」について

選考：情報処理の専門家からも参考意見を聴取すべく、臨時選考委員として鈴木秀幸 教授（大阪大学）を選任し、一次選考として2023年8月下旬～10月中旬に選考委員の書類審査評価と臨時選考委員の意見聴取を行った。第一次選考審査の結果および臨時選考委員からの参考意見を踏まえて、選考委員会（2023年10月24日開催）にて選考した。

決定：第39回理事会（2023年12月4日開催）で審議・決定。

【贈呈について】

2024年2月20日にホテルオークラ京都において、研究開発助成金贈呈式を挙行。「領域全般」20件、「新分野」3件の計23件に対し、助成金(総額2300万円)を贈呈した。

受領者一覧（計23名）は、別紙2に記載。

3. 普及啓発

文部科学省では科学技術に関する普及啓発活動の一環として、毎年、全国的規模で科学技術週間を制定しており、当財団も、同週間関連行事として、島津製作所創業記念資料館の無料公開に毎年協賛をしている。しかし当該週間となる2023年4月はコロナ禍の影響から無料公開は中止とした。このため同資料館にある財団の展示パネルの更新のみを行った。

また、2023年2月20日に行われた2022年度島津賞受賞者と島津奨励賞受賞者による受賞記念講演の動画を見やすく編集し、2023年4月1日より財団ホームページ上で一般公開を開始した。公開期間は1年程度としている。

4. その他の事業：

特になし

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に、その内容を補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成していない。

以上